



畑の中のツリーは大きいもので8メートル。点灯は1月31日まで（16時30分～23時）

## 輝いている人を紹介します まちのキラリ

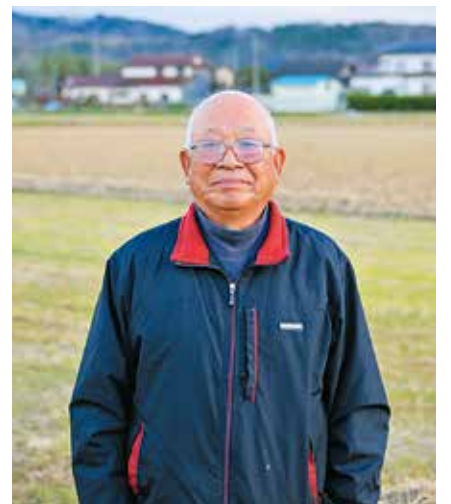
保原総合公園の近くに、イルミネーションが約300灯も連なる通りがある。地域を明るく照らしたい。そんな気持ちが込められた手作りの灯りは、今年も見ると人の心を和ませる。

### 始めたきっかけ

元々、おおつか花の会では伊達ももの里マラソンの沿道を花で賑やかにしたいという気持ちで植栽を始めました。花時期が終わってしまうと寂しくなるので、有志が集まって少しでも明るくするにはどうしたらいいか相談して、10年ほど前からイルミネーションを灯しています。

### 楽しんでもらうために

8人ほどで協力して続けています。自宅の電飾は各々で



おおつか花の会  
まつうら よしみ  
会長 松浦 義美さん(保原町)

準備して、キャラクターなどの電飾はチューブ状の電飾を曲げて自作しています。全体で灯す前につかない箇所がないかをまず点検して修理します。一番若い人で60歳近くです。高台と高台の装飾は大変です（笑）素人なのにみんなよくやっていると嬉しいです。いろいろな人から声をかけてもらえることが励みになっています。

### 続ける秘訣

気持ちを一つにしないと難しいと思います。花の季節も



電飾を点検する松浦さんと酒井誠造さん。きれいな灯りを保つには期間中の点検も欠かせないそう。

イルミネーションも、今年はどういう風にしようかとお互いに意見を出し合います。誰か一人の力ではできないし、全部みんなが決めるので協力してできるんだと思います。今では福島市などからも見に来てくれるようになりまして。今年はコロナ禍なので、実施するかどうしようかという話も出ました。でも、暗いニュースばかりの今だからこそ、明るい光で照らしたいと思っています。今年もみんなに来てもらえたら最高です。